

【法政大学連帯社会インスティテュート公開講座】

# 社会的連帯経済(SSE)の 現在とその未来を考える

オンライン開講  
参加費無料

## 1 国際NGOと小農支援におけるSSE

5月6日(土) 13:10~14:50

講師:

**楊殿閣** (ソリダリダード・ジャパン) による講義。事務局をしている同NGOは、世界に8つの地域センター・ネットワークをもち、農産品の公正なサプライチェーン構築のための円卓会議などを試みている。国内のSSE勉強会の事務局としての立場も含め、お話いただく。

## 2 韓国における社会的経済の広がり

5月6日(土) 15:00~16:40

講師:

**友岡有希** (ワーカーズコープ) による講義。創立よりGSEFを主導してきた経験など、韓国は世界でもSSEが拡大している国として認知されている。その広がりについて現地の具体的事例を交えながら、お話いただく。

## 3 マイクロファイナンス/家内労働とSSE

5月27日(土) 13:10~14:50

講師:

**高須直子** (神田外語学院) による海外事例の講義。UNDPを含む国際開発の現場における20年以上の仕事を経て、パキスタンのマイクロファイナンスや女性の家内労働支援団体の取り組みをSSEの観点から研究された成果について、お話しいただく。

## 4 グローバリズムに抗する思想としてのSSE

5月27日(土) 15:00~16:40

講師:

**鈴木岳** (生協総合研究所) によるSSEの思想的位置や協同組合運動との比較を歴史的に検証する講義。同研究所でスタートした常設のSSE研究会の企画者として、なぜSSEがいま語られる時代なのか、お話いただく。

## 5 特別対談：これからのSSEを考える

6月17日(土) 13:10~16:30

講師:

**高崎真一** (ILO駐日代表)  
**富沢賢治** (一橋大学名誉教授)

富沢氏による講義「SSEと協同組合運動の新理念」からスタート。高崎代表よりこの間のILOにおける新しい動きなどを含め挨拶をいただいた上で、両氏による対話が行われる。参加者からの質疑応答の時間も十分に確保し、これからの日本におけるSSEの方向性を照らす白熱した議論を期待してほしい。

※講義は富沢著「社会的連帯経済とはなにかー協同組合運動の新理念」(『生協総研レポート』No.98)をベースにしています。

## 6 席卷するラテン世界のSSEと日本への提案

7月8日(土) 13:10~14:50

講師:

**工藤律子** (ジャーナリスト) がスペインや中南米などのラテン世界を渡り歩き見聞してきたSSEの実態を語りながら、多様な社会課題を抱える日本においてSSEがどのような力を発揮できるのか提言する。著書に『ルポ つながりの経済を創るースペイン発「もうひとつの世界」への道』(岩波書店, 2020)など。

社会的連帯経済(SSE)は、協同組合や共済組織などが中心となって多様な経済主体と連携しつつ新しい持続可能な経済社会の構築を目指す国際的な連帯運動です。昨年度に引き続き、法政大学連帯社会インスティテュート協同組合プログラムでは、SSEについて学び、国内での実践を広げるため、SSEを推進する複数の国際ネットワークの動きを学ぶオムニバス講義を全6回(4日間)開催いたします。公開講座として学外からもオンラインで参加できます。皆様のご参加をお待ちしております。

全回あるいはご興味のある単回でも興味があれば、自由にご参加ください。参加にあたり、以下のWEBフォームより事前申込みが必要となります。お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

<https://ws.formzu.net/dist/S62208103/>



QRコードからも申込可能です。